

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 4 年 4 月 14 日(2022.4.14)

【公開番号】特開 2021-155(P2021-155A)

【公開日】令和 3 年 1 月 7 日(2021.1.7)

【年通号数】公開・登録公報 2021-001

【出願番号】特願 2019-114053(P2019-114053)

【国際特許分類】

A 6 1 M 25/14(2006.01)

A 6 1 M 25/10(2013.01)

【F I】

A 6 1 M 25/14 5 1 8

A 6 1 M 25/14 5 1 4

A 6 1 M 25/10

10

【手続補正書】

【提出日】令和 4 年 4 月 6 日(2022.4.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

筒状のインナーシャフトと、

前記インナーシャフトを覆うように配置された筒状のアウトershフトと、

前記インナーシャフトの外部であって前記アウトershフトの内部に形成された内腔に挿通されたコアワイヤと、を備えているカテーテルであって、

前記コアワイヤは、中実の部材であり、

前記コアワイヤは、横断面が非真円形の係合部を有し、

前記係合部の先端は、前記コアワイヤの先端であり、

前記係合部の外周は、前記アウトershフトの内周面に常時接触していると共に、前記インナーシャフトの外周面に当接可能であることを特徴とするカテーテル。

【請求項 2】

前記係合部の横断面の形状が、楕円形状または円弧状である請求項 1 に記載のカテーテル。

【請求項 3】

前記係合部は、前記アウトershフトの内周面と前記インナーシャフトの外周面との両方に接触している請求項 1 または請求項 2 に記載のカテーテル。

【請求項 4】

前記係合部の横断面における最大径は、前記係合部よりも基端側に位置する前記コアワイヤの横断面における最大径よりも大きい請求項 1 から請求項 3 のいずれか 1 項に記載のカテーテル。

【請求項 5】

先端が前記インナーシャフトの先端に接合され、前記インナーシャフトを覆うように配置された拡張可能なバルーンを備え、

前記アウトershフトの先端が前記バルーンの基端に接合されている請求項 1 から請求項 4 のいずれか 1 項に記載のカテーテル。

20

30

40

50